

5. 不法投棄廃棄物等の撤去

2004年から撤去を開始した廃棄物について、2012年12月27日に掘削・選別を、2014年3月26日に撤去を約10年かけて完了した。廃棄物総量は約35万8千トンだった。

廃棄物の処理に当たっては、環境負荷・経費等を考慮し、県内セメント工場での資源化が77.3%、廃棄物処理施設での焼却等が22.7%となった。

廃棄物等の撤去に当たっては、廃棄物から地盤及び周辺環境等への有害物質の漏洩・拡散の防止、作業員の安全衛生面の確保等の様々な諸条件を、原状回復事業のための各種マニュアルに基づき考慮したうえで実施した。

9. 汚染水の排水

- 9-1 管理エリア内の汚染水は、管理エリアごとに設ける釜場に集水したものを揚水ポンプにて汚染水排水路又は汚染水貯留槽に誘導するものとする。
- 9-2 一工区内の釜場を最も集水し易い位置に設置する場合には、管理エリアごとに設置する必要はない。
- 9-3 作業中止時には工区内通路も遮水性を有するシートで覆うことにより、汚染水の発生を防止する。

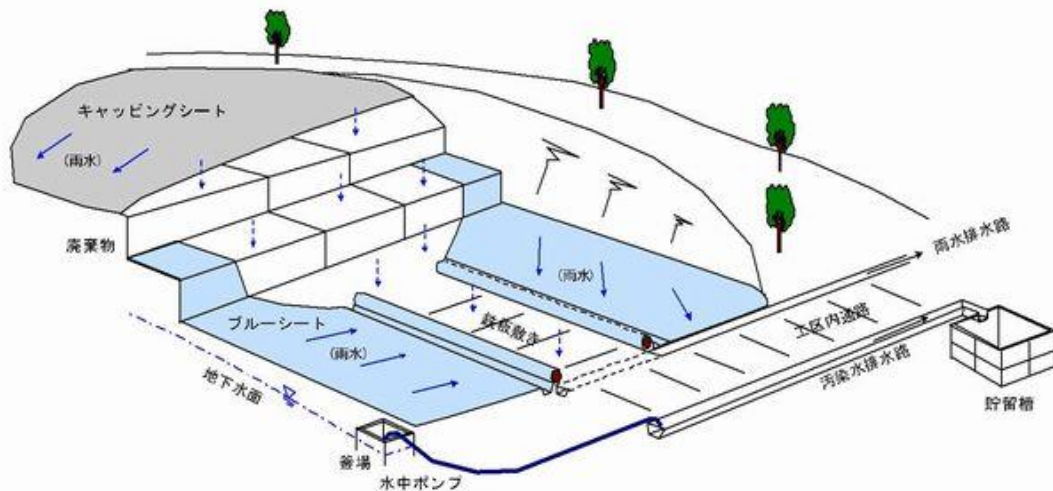


図-5 掘削作業現場の汚染水排水概念図

マニュアルに基づく廃棄物の掘削撤去手順例。



不法投棄廃棄物の撤去状況 1



不法投棄廃棄物の撤去状況 2



選別後の廃棄物



廃棄物の積み込み



掘削完了確認記録：D区 5-⑦-キ



5-⑦-キ-a	確認日：2010/12/9
立会者：監理JV渡辺	掘削深度：1.50m 廃棄物：なし
地質：	



5-⑦-キ-b	確認日：2010/12/9
立会者：監理JV渡辺	掘削深度：1.50m 廃棄物：なし
地質：	



5-⑦-キ-d	確認日：2010/12/9
立会者：監理JV渡辺	掘削深度：1.50m 廃棄物：なし
地質：	

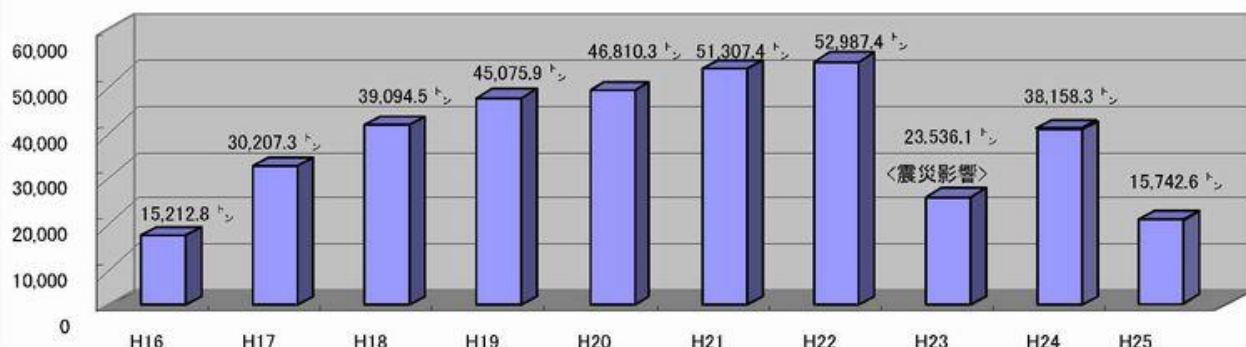


5-⑦-キ-c	確認日：2010/12/9
立会者：監理JV渡辺	掘削深度：1.50m 廃棄物：なし
地質：	

廃棄物掘削完了後の立会確認

廃棄物処分実績

H25年度末までに全量（358,131トン）の廃棄物を処分。



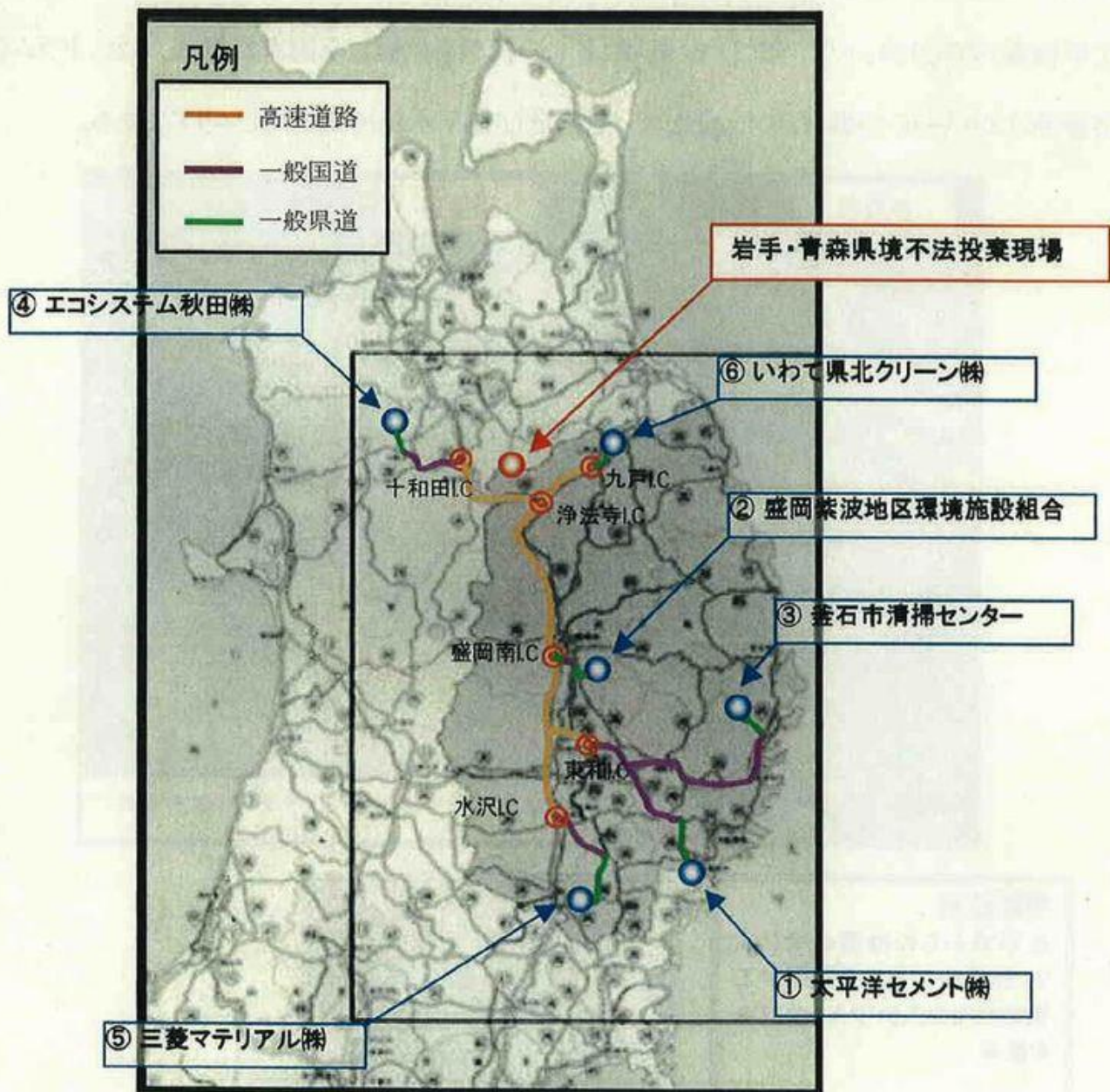
処理施設名	処理量 (t)	割合(%)	処理施設名	処理量 (t)	割合(%)
太平洋セメント㈱大船渡工場	241,765	67.5%	釜石市清掃センター	2,883	0.8%
エコシステム秋田(株)	56,555	15.8%	クボタリテックス(株)	391	0.1%
三菱マテリアル(株)岩手工場	30,324	8.5%	その他産業廃棄物処理施設	12	0.0%
いわて県北クリーン(株)	12,630	3.5%	自主撤去	6,284	1.8%
盛岡・紫波地区環境施設組合	7,287	2.0%			

廃棄物の年度別処分実績



不法投棄廃棄物の最終搬出状況(2014年3月26日)

県境不法投棄現場と処理施設に係る位置関係図



◎これまでに処分を委託した施設の一覧

施設の名称	施設の種類の	所在地	開始時期
① 太平洋セメント(株)	セメント製造施設	岩手県大船渡市	H15~
② 盛岡・紫波地区環境施設組合	一般廃棄物焼却施設	岩手県矢巾町	H18~
③ 釜石市清掃工場	一般廃棄物焼却施設	岩手県釜石市	H18~
④ エコシステム秋田(株)	産業廃棄物焼却施設	秋田県大館市	H19~
⑤ 三菱マテリアル(株)	セメント製造施設	岩手県一関市	H20~
⑥ いわて県北クリーン(株)	産業廃棄物焼却施設	岩手県九戸村	H20~

不法投棄廃棄物の処分を委託した主な施設と運搬ルート